AIレシート機能 設定マニュアル

概要

AIレシート（レシートAI OCR）は、免税アプリで読み取ったレシートの明細をAIが解析し、商品名・金額を取り込む機能です。正しく読み取るには、企業管理画面で「自社のレジ・レシートの形式」を事前に設定しておく必要があります。

- **対象**：会計レジをご利用の加盟店企業の管理者（本社ご担当者）
- **設定場所**：企業管理画面 ＞ 会計レジ・レシート情報
- **設定する4項目**：内税外税表示／端数処理／レシートAI OCRの利用／レシート解析モード

設定値は企業単位でアプリに反映され、アプリの動作が自社レシートに合わせて最適化されます。長尺レシートも複数枚に分けて撮影すれば自動で継ぎ合わせられます（「アプリでのレシート撮影」参照）。

> **ご注意（AIレシート機能の対応範囲について）**
>
> - 本機能は、できるだけ多くのレジのレシートに対応するようAI学習設計されていますが、レシートのデザインはレジごとにすべて異なるため、あらゆるレシートに対応するものではありません。
> - 撮影者の操作や企業管理画面の設定内容によっては、正しく読み取れない場合があります。
> - 明るさ・影・レシートの折り目などの撮影環境によっても、正しく読み取れない場合があります。
>
> 以上をご承知のうえ、ご利用ください。

設定画面の開き方

企業管理画面の企業情報ページ（smartdetaxadmins.com/company）にある「会計レジ・レシート情報」で設定します。

1. 企業管理画面にログインします。
2. 企業情報ページを開き、「会計レジ・レシート情報」の枠までスクロールします。
3. 4つの必須項目（＊印）を選択し、ページを保存します。



画面下の「レシート解析モードについてはこちらを参照してください」を押すと、各モードのレシート例が表示されます（本書の「レシート解析モードの見分け方」と同じ内容）。

各設定項目

迷ったら「レシート明細行の金額が税込みか」を確認し、解析モードはまず「通常モード」で試してください。

項目	選択肢	選び方
内税外税表示	税込（内税）／税抜（外税）	レシート明細行に印字されている金額が税込み表記なら「税込（内税）」、税抜き表記なら「税抜（外税）」
端数処理	切り捨て／切り上げ／四捨五入	税込（内税）の場合、免税アプリが税抜き金額を自動計算（税剥がし処理）する際の端数ルール。自社レジの端数処理に合わせる
レシートAI OCRの利用	利用する／利用しない	レシートをAIで読み取る場合は「利用する」
レシート解析モード	通常／複数行／変則行(S)／変則行(E)	自社レシートの明細行の構成で選ぶ（次節）。まずは通常モード

端数差異について：税剥がし処理の端数の都合で、免税アプリの合計金額とレシートの合計金額に差異が生じる場合があります。外国人旅行者への還付額には影響ありません。

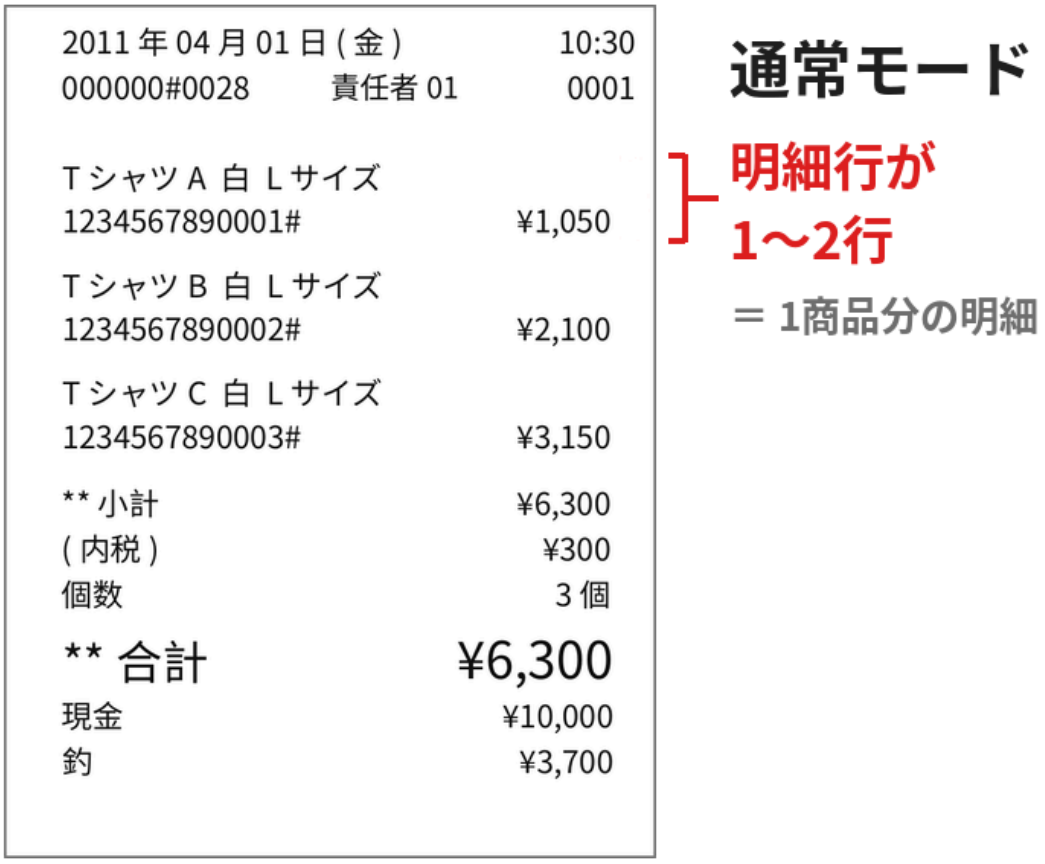
レシート解析モードの見分け方

モードは「1商品あたりの明細が何行か」「行数が商品ごとに揃っているか」「金額が何行目に印字されるか」の3点で決まります。複数行モードと変則行モード(E)は、選択後に行数などの追加設定が必要です。

モード	明細行の構成	金額の印字位置	追加で設定する項目
通常モード	1行または2行	明細行の右端	なし
複数行モード	常に2行以上・固定行数	決まった行	固定行数・金額行番号・商品名行番号
変則行モード(S)	常に2行以上・変則行数	先頭行	なし
変則行モード(E)	常に2行以上・変則行数	後尾行	1明細を構成する行数（最大値）

通常モード

「明細行が1行または2行構成」の場合に使います。商品名・商品コードと金額が1〜2行に収まる、もっとも一般的なレシートです。追加の設定はありません。



複数行モード

「明細行が常に2行以上」かつ「固定行数構成」の場合に使います。例では商品名・サイズ・商品コード・「@単価×点数 金額」の4行が商品ごとに繰り返されます。

追加設定：1明細を構成する「固定行数」「金額行番号」「商品名行番号」を入力します。下の例なら固定行数＝4、金額行番号＝4、商品名行番号＝1です。

行	印字内容（例）
1	Tシャツ 白
2	Lサイズ
3	商品JANコード12345678
4	@100円 x 30点 3000円（税込）



変則行モード(S)

「明細行が常に2行以上」かつ「変則行数構成」かつ「金額が**先頭行**印字」の場合に使います。例では商品コードの行に個数・単価・金額が並び、その下に商品名が1〜2行続きます。追加の設定はありません。



変則行モード(E)

「明細行が常に2行以上」かつ「変則行数構成」かつ「金額が**後尾行**印字」の場合に使います。例では商品名の後に来る商品コードの行に金額が印字されています。

追加設定：レシート1明細を構成する行数を入力します。行数が商品ごとに変わるため、**その最大値**を設定します。下の例なら最大3行なので「3」です。

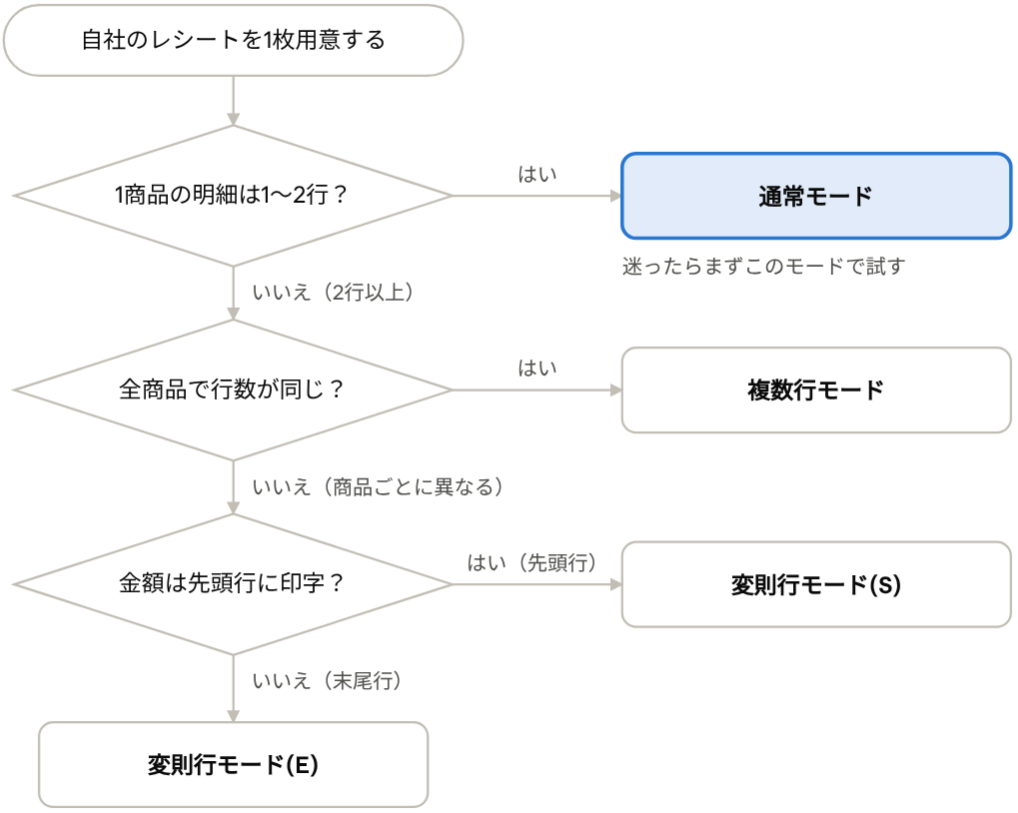
行	商品	個数	販売担当者	単価	価格
1	Tシャツ 白				
2	Lサイズ				
3	12345678	1	XXXX	¥3,000	¥3,000



モードの選び方と見直し

自社のレシートを1枚用意し、3つの問いに答えるとモードが決まります。

明細の行数と金額の位置で、4つのモードのどれかに決まる



レシート解析モードの選び方 · 3つの問い

読み取り結果がおかしいときは、次の順に設定を見直してください。

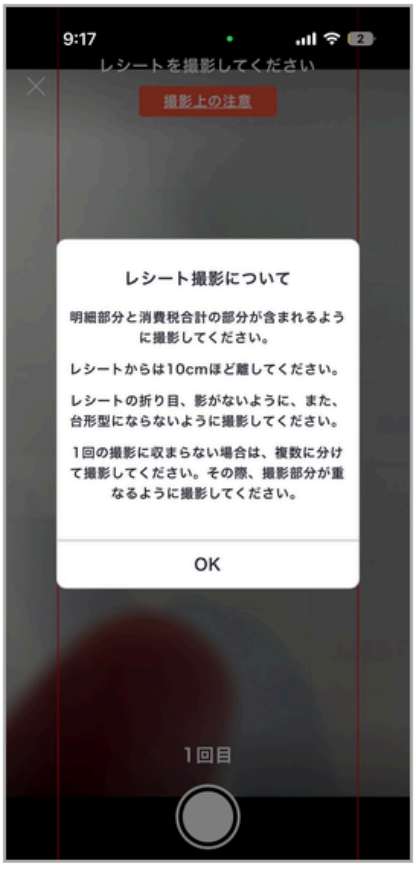
症状	見直す設定
金額が税込／税抜でずれる	内税外税表示（明細行の金額が税込み表記かを再確認）
合計が数円ずれる	端数処理（自社レジのルールに合わせる。それでも生じる端数差異は還付額に影響なし）
商品名と金額の組み合わせがずれる・商品が分かれる	レシート解析モード（上の図で選び直す）
複数行・変則行(E)モードで商品名や金額が取れない	追加設定の行数・行番号（実際のレシートで数え直す。(E)は最大行数）
レシートを読み取らない	レシートAI OCRの利用が「利用する」になっているか

アプリでのレシート撮影

免税アプリの撮影画面でレシートを撮影すると、AIが明細を読み取ります。**長尺レシートは複数枚に分けて撮影でき、アプリが自動で継ぎ合わせます。**



① 撮影画面



② 「撮影上の注意」

1. 「レシートを撮影してください」の撮影画面で、レシートを赤い縦線の間に収めます。
2. シャッターボタンを押して撮影します。画面下に「1回目」と撮影回数が表示されます。
3. 1回で収まらない長いレシートは、続きの部分を2回目以降として撮影します。前の撮影と**一部が重なるように**撮ると、重なりを手がかりに自動で継ぎ合わせられます。

撮影上の注意

撮影画面上部の「撮影上の注意」を押すと、次の注意が表示されます。

- 明細部分と消費税合計の部分が含まれるように撮影する
- レシートからは10cmほど離す
- レシートの折り目・影がないように、また台形型にならないように撮影する
- 1回の撮影に収まらない場合は複数に分けて撮影し、撮影部分が重なるようにする

継ぎ合わせがうまくいかないときは、重なりを大きめ（明細数行分）に取って撮り直してください。

※撮影者の操作や撮影環境によっては、上記の注意を守っても正しく読み取れない場合があります。また、本機能はあらゆるレシートに対応するものではありません。ご承知のうえ、ご利用ください。